



まちがど トピックス



■市表彰式～27人と5団体を表彰～

11月3日、すばるホールで、市表彰式を開催しました。
式典では、市表彰条例に基づき市政や自治振興、教育文化、公安防災、産業振興、福祉衛生の各分野で活躍、貢献された皆さんの功績をたたえ、多田市長から表彰状を授与しました。
今後もそれぞれの分野で、さらなる活躍を期待しています。



■改めて防災意識を高める

10月23日、喜志・第一中学校区の避難所と石川河川敷川西グラウンドで、市総合防災訓練が実施されました。当日は住民参加の避難訓練の他、消防や消防団、自主防災組織、災害派遣医療チーム「DMAT」、ドクターヘリ^{ディーマット}などが参加し、大地震発生を想定した倒壊家屋からの救助訓練が実施されました。訓練の2日前に鳥取県で震度6弱の地震が起きたこともあり、参加者や見学者は改めて防災意識を高めていました。

■地域を支え続けて60年

11月5日、すばるホールで、市町総代会創立60周年記念式典が開催され、節目を祝い、今後のさらなる発展を誓いました。

地域活動に貢献された30人に町総代会より感謝状と記念品が贈られた第一部に続き、第二部は、落語家の桂 福丸さんによる落語の上演や、本市を題材にしたクイズ大会が催されると、会場は大きな笑い声や拍手に包まれました。



写真とともに見る10月～11月のできごと



■岩手県大槌町長が本市を訪問

11月9日、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町の平野 公三町長が市役所を訪れ、本市の支援に感謝を伝えました。

本市は、震災発生直後に消防隊員や職員が同町で救助・支援活動をした縁で、人的派遣をはじめ、物資や義援金を送るなど継続した支援を続けています。多田市長は、「今後も、大槌町の復興を応援していきたい」と語りました。

■元気いっぱい、子ども商人^{あきんど}

10月28日、滝谷不動駅前で、「第16回子ども商人店」が開催されました。当日は、錦郡小学校5年生とさくら学級の児童が滝谷不動商店会などの協力で、富田林産の野菜や生花などを販売しました。児童らは威勢の良い掛け声で呼び込みをしたり、商品の袋詰めをしたりと初めての体験とは思えないほどの手際の良さ。「ありがとうございました」と笑顔でお礼を言う姿に、買い物客からも笑みがこぼれていました。



■手作りかかしは、力作ぞろい

11月6日、嬉地区の石川河川敷で、「第1回かかしフェスティバル」が開催されました。これは、彼方上7町会まちづくり協議会が、地域がにぎわうようにと開催したものです。

地元の幼稚園児や小・中学生をはじめ、地域の皆さんが丹精込めて制作した約100体のかかしはどれも力作ぞろい。漫画のキャラクターや人気芸能人のかかしには、来場した子どもたちから大きな歓声が上がっていました。

■お買い得な商品がいっぱい

11月13日、レインボーホール（市民会館）で、第33回商工祭が開催されました。

当日は好天にも恵まれ、青果販売コーナーでは新鮮な野菜や果物を買求めようと長蛇の列ができていました。

また、各事業所による地域の特産品などを販売するコーナーや豪華賞品の当たる大抽選会などもあり、会場は両手に買求めた商品などを抱えた人たちでにぎわっていました。

